

2022(令和 4)年度 「『授業改善』のための調査」 報告書

柴田学園大学 FD 委員会
[2023(R5).11]

目次

1. 実施方法.....	3
(1) 実施期間.....	3
(2) 実施・回収方法.....	3
(3) 実施科目.....	3
(4) 調査項目.....	3
(5) 集計方法.....	3
(6) 回答率.....	3
(7) 結果の公表方法.....	3
2. 結果.....	4
(1) 年度別×学科別の 14 項目の平均値.....	4
◎ 学科別の検討.....	4
(2) 学年、学科別の平均値—健康栄養学科.....	5
(3) 学年、学科別の平均値—こども発達学科.....	6
3. 2022 年度『授業改善』のための調査」報告書の総括と今後の課題.....	10
4. 付録 (p.11～p.17)	11

1. 実施方法

(1) 実施期間

授業評価の実施時期は、半期科目・通年科目ともに前期末及び後期末の年 2 回とした。期間としては、前期は 7 月または 9 月に講義終了後、後期は 1 月または 2 月に原則的にその最終講義またはその前の回に実施した。

(2) 実施・回収方法

授業評価は、学期の最終講義か、またはその前の講義中か後に、学生が学内 Wi-Fi から入力サイトの WEB に接続して行った。

(3) 実施科目

卒業研究、学外実習（および一部その関連）科目を除く、全開講科目を対象とした。

(4) 調査項目

（付録「授業改善」のための調査用紙 参照）

調査項目は、選択式回答(自由記述欄を含む 14 項目、5 段階評価)である。教員の授業についての評価 8 項目(項目番号 1～8)、学生自身の授業の取り組み方についての評価 5 項目(項目番号 9～13)、総合的な授業満足度 1 項目(項目番号 14)の計 14 項目からなる。

なお、入力は学籍番号、学部・学年・授業科目名・授業担当者名である。

(5) 集計方法

調査を実施した全授業科目の科目番号に基づき、すべての調査項目について各開講科目別にデータ処理を行った。

(6) 回答率

実施対象科目におけるアンケート実施状況は、2022(令和 4)年度前・後期において 100 パーセントである。アンケートの回答率は、前期は 61.4%、後期は 59.4%であった。(表 1)。

表 1 「『授業改善』のための調査」アンケート実施状況

	実施科目数	履修登録者延べ人数	回答数	回答率
2022 年度前期	136	4179	2564	61.35%
2022 年度後期	125	3631	2156	59.38%

(7) 結果の公表方法

個々の科目の集計結果は、次年度授業内容の改善に役立てるために、各科目の担当教員にフィードバックを行った。(付録「学生による授業評価アンケート集計結果表(科目別)」参照)
また、全体の集計結果については、報告書を作成し、学内の教員に公表した。

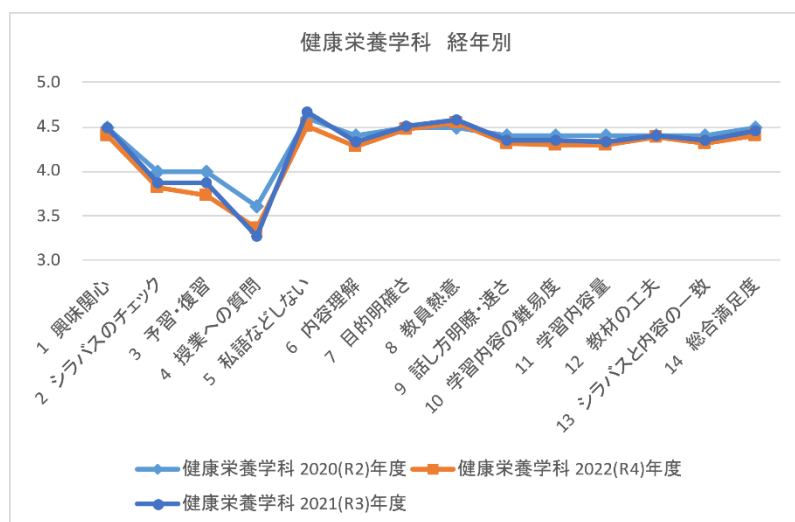
2. 結果

(1) 年度別×学科別の14項目の平均値

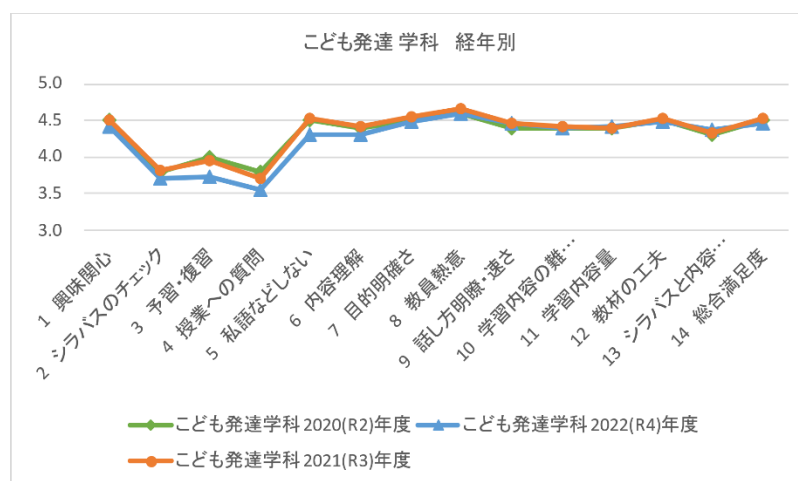
以下は健康栄養学科、こども発達学科の各質問項目についての平均点を年度別に整理したものである。

	健康栄養学科			こども発達学科		
	2020(R2) 年度	2021(R3) 年度	2022(R4) 年度	2020(R2) 年度	2021(R3) 年度	2022(R4) 年度
1 興味関心	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.4
2 シラバスのチェック	4.0	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7
3 予習・復習	4.0	3.9	3.7	4.0	4.0	3.7
4 授業への質問	3.6	3.3	3.4	3.8	3.7	3.6
5 私語などしない	4.6	4.7	4.5	4.5	4.5	4.3
6 内容理解	4.4	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3
7 目的明確さ	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
8 教員熱意	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6
9 話し方明瞭・速さ	4.4	4.4	4.5	4.4	4.4	4.5
10 学習内容の難易度	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4
11 学習内容量	4.4	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4
12 教材の工夫	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5
13 シラバスと内容の一致	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4
14 総合満足度	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5

◎ 学科別の検討



健康栄養学科の経年別変化を見ると、全体的な傾向としては半分の項目にて微減している。その中で特に予習・復習および私語などしないの項目について、2022年度は低下している。またシラバスのチェックについては3年間継続的に低下している。授業への質問の数値は2021年度および今年度ともに3.5を下回っており、この点については今後の検討課題である。



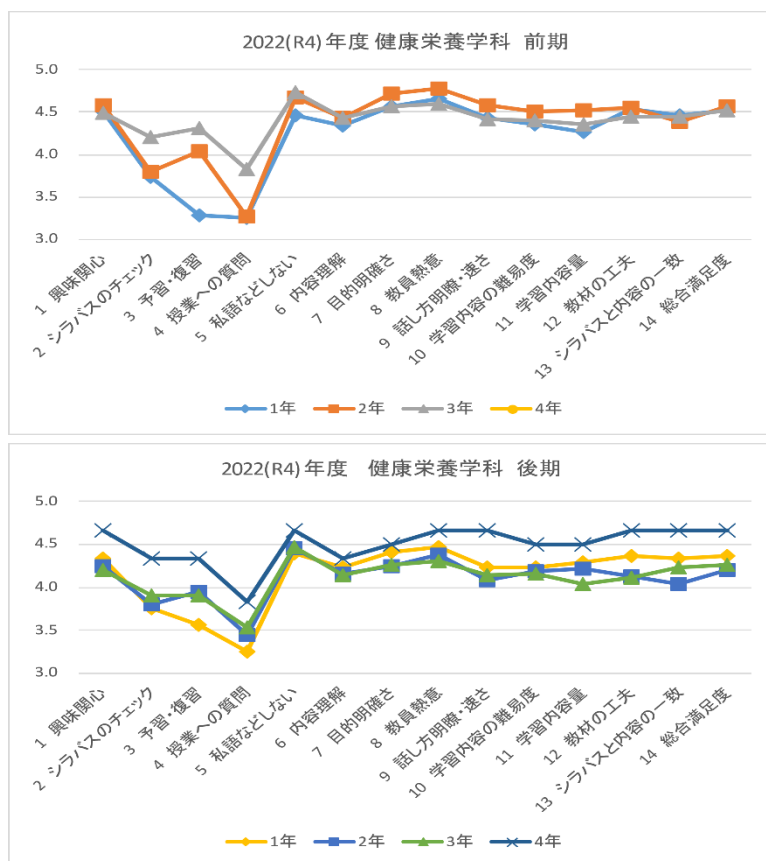
こども発達学科の数値を年度ごとに比較すると、全体的な傾向としては大きな変化はないが、健康栄養学科同様、予習・復習、私語などしないの項目について 2022 年度は低下している様子がうかがえる。特に授業への質問に関して継続的に低下している。

(2) 学年、学科別の平均値—健康栄養学科

学科別の平均値への学年による差異の影響を見るために、学科別の平均値を学年別に整理した。

※健康栄養学科 4 年前期開講科目はコロナ感染症対策の影響で中断、後期に終了したため数値なし。

	2022(R4)年度							
	前期				後期			
	健康栄養				健康栄養			
	1 年	2 年	3 年	4 年	1 年	2 年	3 年	4 年
1 興味関心	4.5	4.6	4.5		4.3	4.3	4.2	4.7
2 シラバスのチェック	3.7	3.8	4.2		3.8	3.8	3.9	4.3
3 予習・復習	3.3	4.0	4.3		3.6	4.0	3.9	4.3
4 授業への質問	3.3	3.3	3.8		3.2	3.4	3.5	3.8
5 私語などしない	4.5	4.7	4.7		4.4	4.5	4.5	4.7
6 内容理解	4.3	4.4	4.4		4.2	4.2	4.1	4.3
7 目的明確さ	4.6	4.7	4.6		4.4	4.3	4.3	4.5
8 教員熱意	4.7	4.8	4.6		4.5	4.4	4.3	4.7
9 話し方明瞭・速さ	4.4	4.6	4.4		4.2	4.1	4.1	4.7
10 学習内容の難易度	4.4	4.5	4.4		4.2	4.2	4.2	4.5
11 学習内容量	4.3	4.5	4.4		4.3	4.2	4.0	4.5
12 教材の工夫	4.5	4.6	4.4		4.4	4.1	4.1	4.7
13 シラバスと内容一致	4.5	4.4	4.4		4.3	4.0	4.2	4.7
14 総合満足度	4.5	4.6	4.5		4.4	4.2	4.3	4.7



<健康栄養学科について>

① 2022 年度前期

前期授業について項目別数値は各学年同様な傾向にあるが、特徴として予習・復習の項目にて1年生の値が、前期も後期も最も低い値になっており、学年が上がるにつれて数値は高くなっている。また授業への質問の数値は各項目の中で各学年とも低数値となっている。

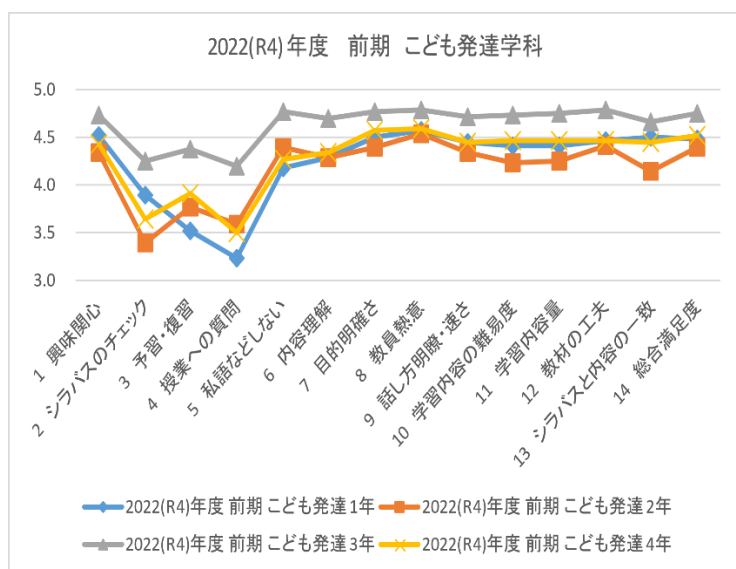
② 2022 年度後期

後期の授業科目については学年が上がるにつれて項目別数値も高くなっている。ただし授業への質問に関しては各学年ともに前期と同様、最低値であり、学生の受動的学習傾向がうかがえる。

(3) 学年、学科別の平均値—こども発達学科

	2022(R4)年度							
	前期				後期			
	こども発達				こども発達			
	1 年	2 年	3 年	4 年	1 年	2 年	3 年	4 年
1 興味関心	4.5	4.3	4.7	4.4	4.4	4.1	4.6	4.4
2 シラバスのチェック	3.9	3.4	4.3	3.7	3.9	3.1	3.9	3.3
3 予習・復習	3.5	3.8	4.4	3.9	3.7	3.5	4.2	3.4
4 授業への質問	3.2	3.6	4.2	3.5	3.6	3.4	4.1	3.2
5 私語などしない	4.2	4.4	4.8	4.3	4.3	4.1	4.6	4.0
6 内容理解	4.3	4.3	4.7	4.3	4.3	4.1	4.5	4.3
7 目的明確さ	4.5	4.4	4.8	4.6	4.5	4.2	4.6	4.5
8 教員熱意	4.6	4.5	4.8	4.6	4.6	4.4	4.7	4.5
9 話し方明瞭・速さ	4.4	4.3	4.7	4.5	4.5	4.2	4.7	4.6
10 学習内容の難易度	4.4	4.2	4.7	4.5	4.5	4.1	4.6	4.5

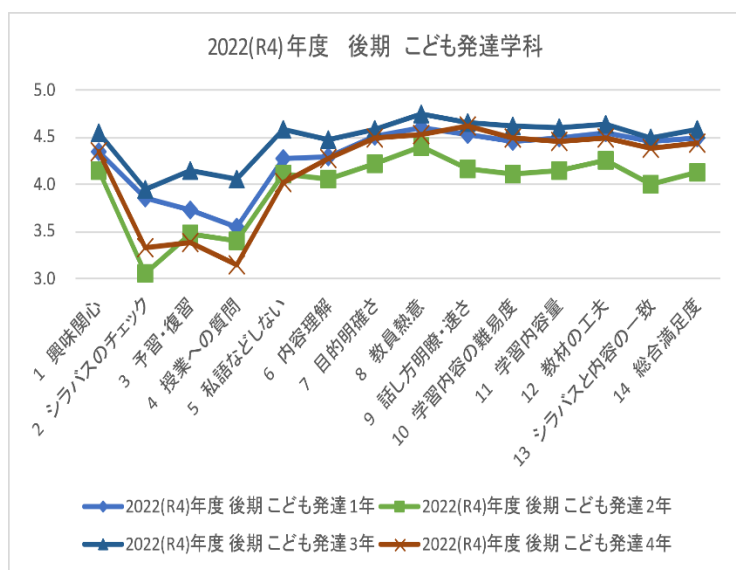
11 学習内容量	4.4	4.3	4.8	4.5	4.5	4.2	4.6	4.5
12 教材の工夫	4.5	4.4	4.8	4.5	4.5	4.3	4.6	4.5
13 シラバスと内容一致	4.5	4.2	4.7	4.5	4.5	4.0	4.5	4.4
14 総合満足度	4.5	4.4	4.8	4.5	4.5	4.1	4.6	4.4



<こども発達学科について>

① 2022 年度前期

項目別数値の特徴として 1 年生は授業への質問について最低値となっており、また予習・復習の数値も他学年に比べて低くなっている。2～4 年生はシラバスのチェックよりも予習・復習の数値は高くなっており、この特徴は 2020 年度の 1 年生と同様である。

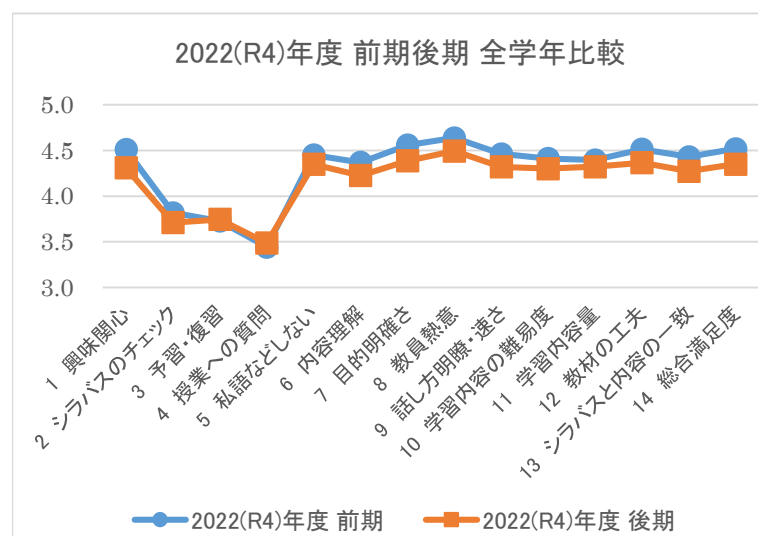


②2022 年度後期

項目別数値の中で顕著な特徴は、授業への質問について 4 年生の数値が全学年の中で最低値となっていることである。2020・2021 年度の 4 年生には見られなかった特徴であるが、同学年（2019C）の経年変化で同様の傾向が続いており、2019 年入学生の特徴といえる。また前記・後期ともに 3 年生の項目別数値が他学年より高いのも 2022 年度および同学年（2020C）の特徴といえる。

・2022 年度全学年比較

	2022(R4)年度	
	前期	後期
1 興味関心	4.5	4.3
2 シラバスのチェック	3.8	3.7
3 予習・復習	3.7	3.7
4 授業への質問	3.4	3.5
5 私語などしない	4.5	4.3
6 内容理解	4.4	4.2
7 目的明確さ	4.6	4.4
8 教員熱意	4.6	4.5
9 話し方明瞭・速さ	4.5	4.3
10 学習内容の難易度	4.4	4.3
11 学習内容量	4.4	4.3
12 教材の工夫	4.5	4.4
13 シラバスと内容の一致	4.4	4.3
14 総合満足度	4.5	4.3



2021 年度の前期後期の全学年比較では前期から後期にかけて数値の下がった項目はなく、大半の項目は同数値であった。前期より後期で数値が上がったのは、授業への質問、学習内容、教材の工夫の 3 項目あった。

2022 年度前期後期の全学年比較の特徴として、各項目で前期より後期で数値が上がったのは授業への質問についてのみであった。また数値に変化のなかった項目も予習・復習のみであり、その他の数値は下がっている。

各項目の変化に関して 2020～2022 年度の間でシラバスのチェックと授業への質問の項目の数値は 4 に達していない。また予習復習の項目も 2020 年度後期に 1 度 4.1 になったものの、それ以外では 4 に達していない。これら 3 項目のなかでも授業への質問は 14 項目中前期後期ともに最低数値であり、その特性は 3 年間変わっていないため、改善に対する取り組みの検討と実施を学科・学年全体で行なうことが急務である。

2022 年度の全体数値前期の平均値は 4.3、後期は 4.2 であり、2021 年度は前期 4.3、後期 4.3 であった（※2020 年度も同数値、2019 年度は前期 4.1、後期 4.1）ことから、前年度の前期と後期それぞれの平均値の増減はわずかであったとはいえ、今後の動向に留意する必要がある。

・2022 年度調査回答率について

2022 年度前期 授業改善のための調査回答率

	履修者数	回答者数	回答率
1N	806	629	78.0
2N	580	369	63.6
3N	344	221	64.2
4N	0	0	—
N	1730	1219	70.5
1C	1115	649	58.2
2C	629	418	66.5
3C	557	208	37.3
4C	148	70	47.3
C	2449	1345	54.9
1 年	1921	1278	66.5
2 年	1209	787	65.1
3 年	901	429	47.6
4 年	148	70	47.3
全学	4179	2564	61.4

(紙の用紙、講義内実施で平均 91%程度)

2022 年度後期 授業改善のための調査回答率

	履修者数	回答者数	回答率
1N	707	447	63.2
2N	567	370	65.3
3N	263	186	70.7
4N	9	6	66.7
N	1546	1009	65.3
1C	1015	573	56.5
2C	622	328	52.7
3C	373	206	55.2
4C	75	40	53.3
C	2085	1147	55.0
1 年	1722	1020	59.2
2 年	1189	698	58.7
3 年	636	392	61.6
4 年	84	46	54.8
全学	3631	2156	59.4

(紙の用紙、講義内実施で平均 91%程度)

<2022 年度前期調査回答率>

前期の調査回収率は健康栄養学科のほうがこども発達学科より高く、学科ごとの回収率の差は 15.6%であった。ただし、p.5 で記載したとおり、2022 年度前期で開講されていた 4N の授業は臨地実習総合演習のみであり、またコロナウイルス感染症対策の影響から前期で終了できず、後期で終了した。よって、3 学年分の平均値となっている。

こども発達学科は、3C(2020C)の回答率の低さが顕著であり、学科平均と比較しても 17.6%の差がある。この学年(2020C)は前年度(2021 年度)前期では 56.3%だったが、後期では 28.6%にまで回答率がさがった学年であり、前年度後期の特徴が 2022 年度前期にも生じたといえる。

学年別の基本的特徴は両学科とも低学年の回答率が高く、学年が上がるにつれて回答率が下がる傾向にある。この特徴は両学科の学年別特徴と一致する。

<2022 年度後期回答率>

前期の回答率と比べて健康栄養学科の平均は 5.2%下がり、こども発達学科はほぼ横ばい(0.1%増)となった。学科別の特徴として後期では 3N(2020N)の回答率が高く、両学科全学年の中で最高値の 70.7%となっている。同クラス(2020N)の前年度後期回答率は 51.6%であり、大幅に回答率があがった。

前年度の 3N(2019N)後期の回答率は 47.3%であり、また前年度後期 4N(2018N)の回答率が 22.2%と低調だったのに対し、今年度の 4N(2019N)は 66.7%まで上昇しており、前年度と比較してすべての学年で回答率が改善されており評価に値する。

こども発達学科においても前期最低値だった 3C の回答率が 55.2%にまで回復していること、前年度後期と比較して 4C 以外の学年で回答率が上昇しており、全体的に回答率は改善されつつある。

・2017年度からの回答率の推移

「授業改善のための調査」(学生用)回答率

	実施科目数	履修登録者延べ人数	回答数	回答率
2017年度前期	155	4423	3752	84.83%
2017年度後期	125	3535	2794	79.04%
2018年度前期	149	3952	3299	83.50%
2018年度後期	126	3104	2201	70.91%
2019年度前期	139	3606	2667	73.96%
2019年度後期	130	3194	1934	60.55%
2020年度前期	132	3525	2148	60.94%
2020年度後期	122	3055	2034	66.58%
2021年度前期	130	3560	2495	70.08%
2021年度後期	124	3333	1573	47.19%
2022年度前期	136	4179	2564	61.35%
2022年度後期	125	3631	2156	59.38%

※2017年度～Web調査(紙の用紙、講義内実施で平均91%程度)

「『授業改善』のための調査」は2017(平成28)年度よりWebでの回答を実施しているが、経年と共に回答率は悪化している。2020年度を除いて、回答率についての顕著な傾向は、前期よりも後期に回収率が下がることである。

2022年度の回答率で評価すべきは、2021年度後期の回答率が過去最低数値であり、同年前期と比較した減少率も過去最大であったのに対し、2022年度は前期こそ前年度の前期の数値に及ばなかったものの、後期に関しては前年度より12.21%上昇したことである。また例年前期と後期の数値は10～13%近く減少するが、2022年度については1.97%の下げ率で留まっている。さらに2021年度の回答率が59.01%だったのに対し、今年度は60.43%となり、回答率に回復の兆しが見えている。

2022年度は大半がオンライン授業から対面式に復帰し、また一部はオンライン授業を継続する形で実施という、授業スタイルが混合した年度であったため、今年度の数値が今後どのように推移するか注視する必要がある。

3. 2022年度「『授業改善』のための調査」報告書の総括と今後の課題

2022年度に実施した『授業改善』のための調査では、前期の回答率は2021年度を下回ったものの、後期では前年度より大幅に上昇した。また年度平均回答率も60%台に回復した。健康栄養学科については14の質問項目のうち半数の数値が前年度から微減している。こども発達学科は各項目の数値の傾向に大きな変化は見られないが、授業への質問について2020年から0.1ずつ継続的に低下している。授業についての質問は両学科とも14項目中、前期・後期ともに最低数値となる傾向が3年間つづいており、改善策の検討・実施を両学科全学年で取り組むことが急務である。

4. 付録 (p.11～p.17)

学生による授業改善のための調査

*必須

自分の授業取り組みについての評価

1.授業の内容に興味・関心を持つことができた *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

2.この授業のシラバスをよくチェックした *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

3.この授業のために予習・復習をした *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

4.この授業で質問等を積極的にした *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

5.授業とは関係のない行為（私語や携帯電話の使用など）をしなかった *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

6.総合的に判断して自分はこの講義の目標を達成することができたと思う *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

授業に対する評価

7.この授業の目標、目的は明確であった *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

8.この授業において、教員の熱意が感じられた *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

9.教員の話し方は明瞭でかつ適切な速さであった *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

10.この授業の学習内容の難易度は適切であった *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

11.この授業の学習内容の量は適切であった *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

12.この授業では理解向上のために、教材や講義の方法などの工夫がなされていた *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

13.シラバスと授業内容が一致していた *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

総合評価

14. Q1からQ13までを総合的に考慮してこの授業で満足いく学びを得ることができた *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

自由記述

この授業の良いと思ったところ、要望等、調査について気づいたことを入力してください

回答を入力

戻る

送信

2022年度 前期 「授業改善」のための調査の実施について

前期に履修しているすべての科目について、Web上の専用入力フォームにアクセスし、「授業改善のための調査」に回答をお願いします。
 入力にはパソコン、スマートフォン、タブレット端末等から可能です。学内のWi-Fiも利用できます。(Wi-Fiの詳細は裏面)

この調査は、今後の授業をより良くする目的として実施するもので、それ以外の目的には一切使用いたしません。集計にあたっては、回答者の匿名性に配慮します。授業改善のために役立つ率直な意見をご記入ください。

回答用URL: <https://goo.gl/HznaxR> (全科目で使用しますので、ブックマーク等に登録してください)

または、QRコード読み取りアプリにて、右のQRコードを読み込んでください。

コンピュータ室から回答する場合は、共有フォルダ内「_前期授業改善のための調査」からも可能です。



回答期間: 原則として授業内で回答時間が指示されます。(この用紙は全科目で使用しますので無くさないように保管してください)

最終週の授業でも回答指示がなかった場合、**各自で8月2日(火)までに回答してください。**(集中講義は、講義終了後1週間以内)

回答科目: 2022年度 前期に履修登録している全科目(ただし学外実習、卒業論文を除く)

※回答確認欄を利用し、未回答科目がないようにお願いします。

回答確認メール: 入力したメールアドレスに回答確認メールを送信します。

項目について: ① 下記の表にある、科目番号、科目名、教員名を選択してください。

② 未入力項目があると送信できません。

③ 1科目につき、1人1回ずつ回答してください。誤って送信してしまった場合は、学務課までお願いします。

④ 学籍番号・メールアドレスはアンケートの信頼性を高めるために使用するのみで、教員には伝わりません。成績評価にも一切影響しませんので、安心して率直にお答えください。自由記述は個人を特定されない形で教員へ結果を配布します。

なお、調査に回答していない場合は、FD委員会より連絡することがあります。

《健康栄養学科》 ※こども発達学科は次のページ

開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄	開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄
1N	3104	法学	小野昇平		2N	3135	時事英語 I	杉本久美子	
	3105	経済学	兼平拓道			3137	ドイツ語 I	比内馨	
	3108	心理学	小林琢哉			3139	フランス語 I	工藤貴子	
	3109	地域活性化論A	安川由貴子、吉田裕美子			3304	地域健康支援実習	田中里奈	
	3111	学園と地域を知る	大島義晴、中村光宏、他			3305	健康科学実習	前田朝美	
	3121	有機化学	富田雅弘			3310	栄養生理学	飯泉恭一	
	3123	物理学	比内馨			3311	基礎免疫学	清水将之	
	3124	生命科学	友田志郎			3314	生化学実験	飯泉・奥野	
	3131	論文作文技術 I	船水周			3317	食品学	富田雅弘	
	3133	情報機器の操作 I	奈良拓哉			3324	調理学実習	今村麻里子	
	3141	英語A I	FitzpatrickChristopher			3326	基礎栄養学実験	奥野海良人	
	3143	英語B I	杉本久美子			3328	世代別栄養学	真野由紀子	
	3161	体育 I	神和人			3342	公衆栄養学	餅美知子	
	3301	地域健康支援論	加藤陽治、今村麻里子			3345	給食経営管理論	妹尾・花田(玲)	
	3302	社会福祉論	齋藤史彦			3432	家庭経営学(2)	工藤寧子	
	3308	生化学	奥野海良人、飯泉恭一			3463	保育学(2)	福土章子	
	3320	調理学	北山育子			3472	データ解析演習	奈良拓哉	
	3325	基礎栄養学	奥野海良人			3501	家庭科教育法 I	工藤寧子	
	3333	健康教育論	前田朝美			3601	教育原理	齋藤雅俊	
	3404	食の心理学	萩臺美紀			3602	教職の理解	石戸谷他	
3N	3405	おいしさの科学	奥野海良人		4N	3603	教育行政	桐村豪文	
	3441	被服学	葛西美樹			3606	教育課程論	森本洋介	
	3451	住居学	北原啓司						
	3312	微生物学	富田雅弘			3201	卒業論文		実施しない
	3313	解剖生理学実験	清水・飯泉			3349	臨地実習総合演習	妹尾・餅・木下・前田・花田	
	3329	スポーツ・運動栄養学	中村亜紀			3350	給食経営管理臨地実習	妹尾良子	実施しない
	3332	食行動論	前田朝美			3351	公衆栄養学臨地実習	餅美知子	実施しない
	3337	臨床栄養管理論	木下・富樫・高屋			3352	臨床栄養学臨地実習 I	木下康子	実施しない
	3338	臨床栄養生化学	木下康子			3353	臨床栄養学臨地実習 II	木下康子	実施しない
	3340	臨床科学実験	辻秀美			3614	教育実習(中・高)	教職課程委員会	実施しない
	3343	地域健康栄養学	餅美知子			3616	栄養教育実習(事前事後指導を含む。)	前田・今村	実施しない
	3347	給食経営管理実習	妹尾・花田(玲)						
	3422	学校栄養教育論	前田朝美						
	3443	被服平面構成実習	葛西美樹						
	3471	家庭電気・機械	比内馨						
	3503	家庭科教育法Ⅲ	葛西美樹						
	3608	総合的な学習の時間の指導法	花田裕						
	3611	生徒指導(進路指導を含む。)	石戸谷繁						
	3612	教育相談	萩臺美紀						

※ 網掛け部分は卒業必修科目

《こども発達学科》

開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄 ☑	開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄 ☑
1C	2104	法学	小野昇平		2C	2123	物理学	比内馨	
	2105	経済学	兼平拓道			2147	ドイツ語Ⅰ	比内馨	
	2108	心理学	小林琢哉			2149	フランス語Ⅰ	工藤貴子	
	2109	地域活性化論A	安川由貴子、吉田裕美子			2204	教育課程論	森本洋介	
	2111	学園と地域を知る	大島義晴、中村光宏、他			2209	音楽Ⅰ	諏訪才子	
	2121	有機化学	富田雅弘			2234	ICTの基礎	友田志郎	
	2123	物理学	比内馨			2301	国語Ⅰ	船水周	
	2124	生命科学	友田志郎			2304	社会B	石戸谷繁	
	2131	論作文技術Ⅰ	船水周			2308	理科B	友田志郎	
	2133	情報機器の操作Ⅰ	奈良拓哉			2312	図画工作A	岩井康頼	
	2141	英語AⅠ	FitzpatrickChristopher			2315	小学体育A	大島・今	
	2143	英語BⅠ	杉本久美子			2502	子どもの保健	松尾泉	
	2161	体育Ⅰ	大島義晴、神和人			2505	子どもの言葉	船水周	
	2201	家政学原論	工藤寧子			2507	ピアノ表現Ⅰ	一戸智之	
	2202	教育原理	齋藤雅俊			2509	造形表現A	岩井康頼	
	2205	保育原理	安川由貴子			2511	子どもの運動あそびⅠ	小関潤子	
	2207-0	ピアノ基礎Ⅰ	一戸智之			2603	人間関係の指導法	吉田裕美子	
	2207-1	ピアノ基礎Ⅰ	吉田裕美子			2604	環境の指導法	佐藤崇之	
	2211	被服の基礎実習	葛西美樹、工藤寧子			2806	保育の計画と評価	江苺川淳子	
	2212	調理の基礎実習	今村麻里子			2809	乳児保育Ⅱ	福士章子	
	2220	基礎ゼミⅠ	齋藤雅俊、他			2813	保育実習指導Ⅰ	保育士課程委員会	
	2231	家庭管理学	日景弥生						
	2232	被服学	葛西美樹						
	2236	児童文学	藤田晴央						
	2310	音楽Ⅰ	一戸智之、諏訪才子						
	2701	教職の理解	石戸谷繁、他						
3C	2104	法学	小野昇平		4C	2145	英語CⅠ	杉本久美子	
	2105	経済学	兼平拓道			2224	卒業研究Ⅲ		
	2222	卒業研究Ⅰ		実施しない		2240	教育史	齋藤雅俊	
	2237	児童文化論	吉田裕美子			2242	人権教育論	小野昇平	
	2314	家庭	葛西・工藤(寧)			2243	教育方法演習A	一戸智之、杉本久美子、花田裕	
	2317	小学英語	杉本久美子			2244	教育方法演習B	齋藤雅俊、船水周、葛西美樹、工藤寧子	
	2401	国語科教育法	船水周			2708	生徒・進路指導	石戸谷繁	
	2402	社会科教育法	本間信博			2711	事前事後指導(小)	花田裕、杉本久美子	
	2407	図画工作科教育法	蝦名敦子			2712	教育実習(小)	教職課程委員会(小)	実施しない
	2409	体育科教育法	上野秀人			2714	学校教育体験実習Ⅰ(小)	教職課程委員会(小)	実施しない
	2602	健康の指導法	小関潤子			2801	子ども家庭福祉Ⅰ	小野昇平	
	2606	表現の指導法AⅠ	諏訪才子			2807	子ども家庭支援論	安川由貴子	
	2608	表現の指導法BⅠ	岩井康頼						
	2702	教育行政	桐村豪文						
	2705	総合的な学習の時間の指導法	花田裕						
	2709	子どもの理解と援助	萩臺美紀						
	2710	教育相談	萩臺美紀						
	2716	事前事後指導(幼)	吉田裕美子						
	2717	教育実習(幼)	教職課程委員会	実施しない					
	2816	保育実習指導Ⅱ	保育士課程委員会						

※ 網掛部分は卒業必修科目

【柴田学園大学Wi-Fi】

ID: shibata-wifi

パスワード: iwaki-2022

柴田学園大学FD委員会(問合せ先:学務課)

2022年度 後期 「授業改善」のための調査の実施について

後期に履修しているすべての科目について、Web上の専用入力フォームにアクセスし、「授業改善のための調査」に回答をお願いします。
 入力にはパソコン、スマートフォン、タブレット端末等から可能です。学内のWi-Fiも利用できます。(Wi-Fiの詳細は裏面)
 この調査は、今後の授業をより良くする目的として実施するもので、それ以外の目的には一切使用いたしません。集計にあたっては、回答者の匿名性に配慮します。授業改善のために役立つ率直な意見をご記入ください。

回答用URL: <https://goo.gl/aBWDsV> (全科目で使用しますので、ブックマーク等に登録してください)

または、QRコード読み取りアプリにて、右のQRコードを読み込んでください。

コンピュータ室から回答する場合は、共有フォルダ内「_後期授業改善のための調査」からも可能です。



回答期間: 原則として授業内で回答時間が指示されます。(この用紙は全科目で使用しますので無くさないように保管してください)

最終週の授業でも回答指示がなかった場合、各自で2月10日(金)までに回答してください。(集中講義は、講義終了後1週間以内)

回答科目: 2022年度 後期に履修登録している全科目(ただし学外実習、卒業論文を除く)

※回答確認欄を利用し、未回答科目がないようにお願いします。

回答確認メール: 入力したメールアドレスに回答確認メールを送信します。

項目について: ① 下記の表にある、科目番号、科目名、教員名を選択してください。

② 未入力項目があると送信できません。

③ 1科目につき、1人1回ずつ回答してください。誤って送信してしまった場合は、学務課までお願いします。

④ 学籍番号・メールアドレスはアンケートの信頼性を高めるために使用するのみで、教員には伝わりません。成績評価にも一切影響しませんので、安心して率直にお答えください。自由記述は個人を特定されない形で教員へ結果を配布します。
 なお、調査に回答していない場合は、学務課より連絡することがあります。

《健康栄養学科》 ※こども発達学科は次のページ

開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄	開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄
1N	3101	倫理学	齋藤雅俊		2N	3123	プレゼンテーション論	友田・奈良	
	3102	国文学	中村光宏			3134	科学のための英語	杉本 久美子	
	3103	日本国憲法	小野昇平			3136	時事英語Ⅱ	杉本 久美子	
	3106	歴史学	石戸谷繁			3138	ドイツ語Ⅱ	比内 馨	
	3107	社会学	石戸谷繁			3140	フランス語Ⅱ	工藤 貴子	
	3110	地域活性化論B	小野昇平、他			3306	解剖生理学	清水・飯泉	
	3122	化学	飯泉恭一			3307	病態別生理学	清水 将之	
	3125	数学	比内馨			3315	栄養生化学実験	奥野 海良人	
	3126	統計学	小林琢哉			3316	栄養生理学実験	飯泉 恭一	
	3132	論作文技術Ⅱ	船水周			3322	食品学実験	富田 雅弘	
	3134	情報機器の操作Ⅱ	奈良拓哉			3330	応用栄養学実習	真野 由紀子	
	3142	英語AⅡ	FitzpatrickChristopher			3331	栄養教育論	前田 朝美	
	3144	英語BⅡ	杉本久美子			3335	臨床栄養学	木下 康子	
	3162	体育Ⅱ	神和人			3346	給食経営実践論	妹尾・花田(玲)	
	3303	健康衛生学	田中里奈			3421	健康・食生活論	今村 麻里子	
	3309	栄養生化学	奥野海良人			3445	被服学実験	葛西 美樹	
	3318	食品健康科学	前多隼人			3502	家庭科教育法Ⅱ	林 孝子	
	3323	基礎調理学実習	今村麻里子			3604	教育心理学	小林 琢哉	
	3327	応用栄養学	真野由紀子			3607	道德教育の指導法	齋藤 雅俊	
	3403	トレーニング科学	大島義晴			3609	特別活動の指導法	花田 裕	
3N	3406	食品機能学	富田雅弘		4N	3610	教育方法・技術	森本 洋介	
	3431	家庭経営学Ⅰ	工藤寧子						
	3462	家庭看護	大津美香						
	3201	卒業論文		実施しない		3615	教職実践演習(中・高)	齋藤(雅)・小林・葛西他	
	3319	食品科学	富田 雅弘			3617	教職実践演習(栄養教諭)	齋藤(雅)・小林 他	
	3321	食品科学実験	富田 雅弘						
	3334	栄養教育論実習	前田 朝美						
	3336	実践介護食事論	辻 秀美						
	3339	臨床栄養学実習	木下 康子						
	3341	臨床福祉栄養学実習	佐藤 史枝						
	3344	公衆栄養学実習	餅 美知子						
	3348	栄養管理総合演習	妹尾・餅・木下・花田						
	3504	家庭科教育法Ⅳ	葛西 美樹						
	3605	特別支援教育論	松本 敏治						
	3613	事前事後指導(中・高)	葛西・工藤(寧)						
	3616	栄養教育実習(事前事後指導を含む)	前田・今村						

※ 網掛部分は卒業必修科目

柴田学園大学FD委員会(問合せ先:学務課)

《こども発達学科》

開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄 ☑	開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄 ☑
1C	2101	倫理学	齋藤雅俊		2C	2122	化学	飯泉 恭一	
	2102	国文学	中村光宏			2148	ドイツ語Ⅱ	比内 馨	
	2103	日本国憲法	小野昇平			2150	フランス語Ⅱ	工藤 貴子	
	2106	歴史学	石戸谷繁			2210	音楽Ⅱ	諏訪 才子	
	2107	社会学	石戸谷繁			2235	ICT活用法	友田 志郎	
	2110	地域活性化論B	小野昇平、他			2302	国語Ⅱ	船水 周	
	2122	化学	飯泉恭一			2305	算数A	齋藤昭	
	2125	数学	比内馨			2307	理科A	比内 馨	
	2126	統計学	小林琢哉			2313	図画工作B	岩井 康頼	
	2132	論作文技術Ⅱ	船水周			2316	小学体育B	今 和香子	
	2134	情報機器の操作Ⅱ	奈良拓哉			2405	生活科教育法	長尾 明義	
	2142	英語AⅡ	FitzpatrickChristopher			2501	子どもの健康と安全	富士 章子	
	2144	英語BⅡ	杉本久美子			2506	子どもの表現	岩井・諏訪	
	2162	体育Ⅱ	大島義晴、神和人			2508	ピアノ表現Ⅱ	一戸 智之	
	2203	教育心理学	小林琢哉			2510	造形表現B	岩井 康頼	
	2206	保育の心理学	萩臺美紀			2512	子どもの運動あそびⅡ	小関 潤子	
	2208-0	ピアノ基礎Ⅱ	一戸智之			2605	言葉の指導法	船水 周	
	2208-1	ピアノ基礎Ⅱ	吉田裕美子			2703	特別支援教育論	松本 敏治	
	2221	基礎ゼミⅡ	齋藤雅俊、他			2704	道德教育の指導法	齋藤 雅俊	
	2233	食物学	富田雅弘			2707	教育方法・技術	森本 洋介	
	2309	生活	長尾明義			2805	子ども家庭支援の心理学	萩臺 美紀	
	2311	音楽Ⅱ	一戸智之、諏訪才子			2810	障害児保育	若林 一哉	
	2503	子どもの人間関係	吉田裕美子			2814	保育実習ⅠA	保育士課程委員会	実施しない
	2804	保育者論	安川由貴子			2815	保育実習ⅠB	保育士課程委員会	実施しない
	2808	乳児保育Ⅰ	吉田裕美子						
3C	2102	国文学	中村光宏		4C	2146	英語CⅡ	杉本久美子	
	2106	歴史学	石戸谷 繁			2225	卒業研究Ⅳ		実施しない
	2107	社会学	石戸谷 繁			2713	教職実践演習(幼・小)	齋藤雅俊、他	
	2121	自然科学概論	比内 馨			2715	学校教育体験実習Ⅱ(小)	教職課程委員会(小)	実施しない
	2223	卒業研究Ⅱ		実施しない		2802	子ども家庭福祉Ⅱ	小野昇平	
	2241	児童心理学研究法	小林 琢哉			2818	保育実践演習	安川由貴子	
	2403	算数科教育法	久慈 和寛						
	2404	理科教育法	花田 裕						
	2406	音楽科教育法	一戸 智之						
	2408	家庭科教育法	葛西・工藤(寧)						
	2410	外国語(英語)教育法	杉本 久美子						
	2513	子どもの食と栄養	今村 麻里子						
	2514	子育て支援	安川 由貴子						
	2607	表現の指導法AⅡ	諏訪 才子						
	2609	表現の指導法BⅡ	岩井 康頼						
	2706	特別活動の指導法	花田 裕						
	2803	社会福祉	小野 昇平						
	2817	保育実習Ⅱ	保育士課程委員会	実施しない					

※ 網掛部分は卒業必修科目

【柴田学園大学Wi-Fi】
ID : shibata-wifi
パスワード : iwaki-2022

柴田学園大学FD委員会(問合せ先:学務課)

各 位

FD 委員会

Web による「授業改善」のための調査実施のお願い

講義最終日または 14 回目の講義内で、5～10 分程度調査回答のための時間を必ず設けて回答させてください。（講義内で回答時間を設けられなかった場合、学務課までご連絡をお願いします）

学生には事前にメールにて「20**年度 *期 「授業改善」のための調査の実施について」を送信していますので、それを元に回答させるようお願い致します。

調査について質問があった場合は、学務課まで問い合わせるようお願いください。

この調査は、大学の自己点検・自己評価の資料として、FD に関連して実施するものです。後日、担当している科目の調査結果をお渡し致します。先生方の授業改善のためにお役立て頂きたいと思います。

なにとぞ、主旨をご理解の上、ご協力頂きたくお願い致します。

◇ 調査を始める前に学生に下記の事項を読んでください。

1. 【一般講義室での講義の場合】

スマートフォン、携帯電話等を出して、「授業改善」のための調査の回答画面を開いてください。（講義室内に掲示の QR コードからも回答できます。）

【コンピュータ室で実施している講義の場合】

共有フォルダ内の「__前期授業改善のための調査」を開いてください。

【体育館・音楽室等の場合】

（学内の無線 LAN が使用できませんので、講義終了後に各自必ず回答するようお願いいただくか、一般講義室へ移動して回答させてください。）

2. （授業の科目番号、科目名を読み上げて、）この科目について調査に回答してください。自由記述欄もできるだけ記入してください。

3. 電波が弱い、接続ができない、端末がない等で、講義内での回答ができない学生は、講義終了後にコンピュータ実習室のパソコンにて、速やかに回答してください。

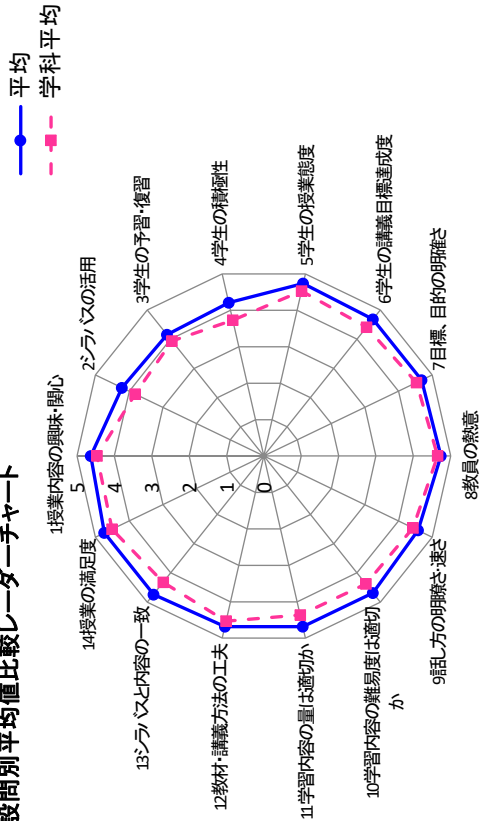
20**年度 ○期 学生による授業改善のための調査 集計結果表 (科目別)

科目番号	5555	対象学科	○年 **学科	履修者数	29 名
科目名	*****	授業形態	演習	回答者数	19 名
教員名	○○○○	教員番号	***	回答率	65.5 %
				全学平均回答率	60.6 %

○項目別回答分布(人数と平均値)

区 分	項目 番号	設問文	回答分布(人)					平均	学科 平均
			5	4	3	2	1		
			よくあて はまる	まあまあ あては まる	どちらで もない	あまり あては まらない	まったく あては まらない		
学 生 に 自 身 の 学 業 に つ い て の 取 組 み	1	授業の内容に興味・関心を持つことができた	13	5	1	0	0	4.6	4.5
	2	この授業のシラバスをよくチェックした	10	5	3	0	1	4.2	3.8
	3	この授業のために予習・復習をした	9	4	6	0	0	4.2	3.9
	4	この授業で質問等を積極的にした	10	4	4	1	0	4.2	3.7
	5	授業とは関係のない行為(私語や携帯電話の使用など)をしなかった	16	1	2	0	0	4.7	4.5
	6	総合的に判断して自分はこの講義の目標を達成することができたと思う	14	4	1	0	0	4.7	4.4
授 業 に つ い て の 評 価	7	この授業の目標、目的は明確であった	14	4	1	0	0	4.7	4.5
	8	この授業において、教員の熱意が感じられた	15	3	1	0	0	4.7	4.6
	9	教員の話し方は明瞭でかつ適切な速さであった	13	4	2	0	0	4.6	4.4
	10	この授業の学習内容の難易度は適切であった	15	2	2	0	0	4.7	4.4
	11	この授業の学習内容の量は適切であった	15	2	2	0	0	4.7	4.4
	12	この授業では理解向上のために、教材や講義の方法などの工夫がなされていた	14	4	1	0	0	4.7	4.5
	13	シラバスと授業内容が一致していた	15	3	1	0	0	4.7	4.3
評 価 合 計	14	Q1からQ13までを総合的に考慮してこの授業で満足いく学びを得ることができた	15	3	1	0	0	4.7	4.5

○設問別平均値比較リーダーチャート



○自由記述

.....
.....
.....
.....
.....